

ID No.	3008
研究課題名	MD-1 による脂質シグナル制御機構の解明
研究代表者	高村 祥子 （愛知医科大学・教授）
研究組織 受入教員 研究分担者	三宅 健介 （東京大学医科学研究所・教授） 高木 秀和 （愛知医科大学・講師） 一文 字功 （愛知医科大学・助教） 森田 奈央子（愛知医科大学・大学院生）
研究報告書	
TLR4/MD-2のカウンターパートであり構造的にも類似点の多いRP105/MD-1に関して、MD-1が脂質と結合する血清タンパクである点に着目して解析を進めてきた。その結果、いくつかの種類の血清脂質においてMD-1の存在が影響している可能性が示唆されたが、元来示唆されている肥満や自己免疫疾患との関連については直接説明できるところまでには至らず今後の課題となった。一方で今後の方針を見極めることができ、さらなる欠失マウスとのかけ合わせや新たな観点からの解析方法を見出すことができた。さらに抗体研究に関する共同研究サポートにより、新たに論文①（Yamazaki T., et al.J.Biol.Chem.2019）も発表できた。	